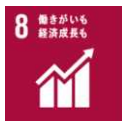


普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)6月17日

所 属 名:高島農産普及課

番 号:H25007

発 信 者 名:中橋、松尾、三溝、中川、大角、大崎

農業組合長会議で「地域計画・目標地図」の活用を推進

5月27日から6月3日にかけて、高島市の旧町村6地域で農業組合長会議が開催され、「地域計画の活用」に向けて説明しました。6地域あわせて110集落の農業組合長と各地域の農業委員・農地利用最適化推進委員および関係機関が出席しました。

高島市では、令和7年3月に147集落で地域計画が策定されました。しかし、地域計画はあくまでも手段であり、今後変更含めてどのように活用していくのかが重要です。また、その窓口としても農業組合長が果たす役割は大きいといえます。その一方で、令和7年度に農業組合長が交代した集落も多く、地域計画について理解されていないことから、高島市と当課は協議して本会議を活用して地域計画について説明することとしました。

会議においては、まず各農業委員・農地利用最適化推進委員が紹介され、その役割について説明があり、農地の利用調整役として集落の話し合いに参加するため担当委員を呼んでほしいと依頼がありました。

次に市から地域計画の概要や変更方法などについて説明され、その後当課から実際に高島管内での事例を紹介しながら、地域の農地を守るために地域計画を活用して話し合いや実行に向けて活動するよう促しました。質疑では、「具体的に地域計画を変更する際はどのようにするのか」という質問がありました。

当課では、今回の農業組合長会議をきっかけに集落の話し合いを促進し、集落が必要とする担い手との調整や集落営農づくりを支援し、地域計画の活用をすすめます。



農業組合長会議の様子
(旧高島地域)



当課による事例紹介